

【第 20 回】大型車通行適正化に向けた関東地域連絡協議会 会議概要（案）

1. 会議開催日時・場所

- 日時：令和 7 年 1 月 24 日(木) 14 時 00 分～15 時 40 分
- 場所：Web 会議(Teams)及びさいたま新都心合同庁舎 2 号館 19 階道路占用調整室

2. 座長（関東地方整備局道路部 道路環境対策技術分析官）挨拶の概要

- ・物流を担う各都県のトラック協会、建設業に関わるクレーン建設業協会、警視庁、県警本部の皆様については、様々な観点で道路管理に関わるご協力をいただき感謝申し上げます。来年度の活動方向・方針について闊達な議論を期待する。
- ・2023 年の OECD 先進諸国の労働生産性について、日本は 38 か国中 29 位という状況である。物流分野の労働生産性は高い状況ではないが、経済・産業活動を支えていくうえで物流・輸送の効率化を含めた適正通行は不可欠である。関係者が協力しながら、効率化の波に乗っていけるよう、意見交換が有意義なものとなれば良いと思う。

3. 報告

①報告概要

1) 前回の連絡協議会結果等の確認（資料 1）

- ・前回の連絡協議会議事結果等について報告した。

2) 大型車両を取り巻く課題への取組報告（資料 2）

- ・今年度の主な活動状況、課題ごとの取組内容・実施状況について報告した。

3) 令和 6 年度の広報効果の検証（資料 3）

- ・広報効果の検証として、荷主等・クレーンオペレータ・行政書士・広報イベント来場者・ラジオ CM 聴取者へのアンケート、連絡協議会 HP や SNS アクセス数の調査概要と調査結果について報告した。

②主な意見・要望について

- ・広報イベントでは市内外から多くの来場者を迎え、周知、広報の成果もあったと感じる。来年度も引き続き協力したい。
- ・情報板での広報は、効果や反響は聞こえづらいが無言のプレッシャーがあると考えられる。
- ・自社公式 SNS では交通安全等のきめ細やかな情報提供を進めており、事前広報やチラシ掲載を実施した。更なる情報提供をこれからも進めていきたい。
- ・「荷主都合の変更指示がある」という話を聞くことはあったが、想像よりも割合が高い印象を受けた。

4. 議事内容

①議事概要

1) 令和 7 年度の連絡協議会について（案）（資料 4）

- ・令和 7 年度の連絡協議会について、活動方針を提案し、了承を得た。

②主な意見・要望について

- ・クレーンオペレータへの安全講習では、特車制度に関する内容が少ないことから、教科書の内容整備や個人的な講習を行っている。
- ・大型車のメーカーから購入者に対しての広報も実施できるよう、事業者団体としても依頼を行っていく。

5. 今後の予定

- ・次回の第 21 回連絡協議会は令和 7 年 7 月頃開催予定。